

平成27年度 事務事業マネジメントシート

事業名	財政白書作成事業				会計	款	項目	大	小
					01	02	01	05	01
政策	06	公・民パートナーシップによる構想実現と効率的、効果的行財政運営（行政の充実）			主管課	財政調整課			
施策	6-2	健全で効率的な行財政運営			主管課長	秋元 悟			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市の財政状況	意図	市民にわかりやすく説明する。
事業内容	市の財政状況について、従来の決算数字のほかに複式簿記の考え方を取り入れ、行政コストや純資産変動などをわかりやすく解説した白書を作成する。			
事業開始から現在までの状況変化	平成20年度決算版を平成21年度に発行し、その後、経年比較、他団体との比較・分析等を加えるなどして現在に至っている。 また、平成22年度決算版から有料発売することとしている。（1冊1,000円）			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
指標	①						
	②						
	③						
	④						
指標で表すことができない定性的な成果	財政白書により、市民の皆様から流山市の財政に興味をもってもらい、財政状況等を少しでも理解していただくことができた。				目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 市民の皆様に対して、できる限りわかりやすい内容の白書を作成するために、表現方法や図表等を工夫してきた。		
事務事業のコスト		平成25年度	平成26年度	平成27年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		7,321,425	7,315,756	7,898,928			
事業費(b)(円)		334,425	405,756	368,928			
うち一般財源		334,425	405,756	368,928			
職員給与費(c)(円)		6,987,000	6,910,000	7,530,000			
人役・職員(人)		1.00	1.00	1.00			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H27)の改善計画	作業内容の見直しや掲載内容について検討する。	③取組の課題	市民の皆様によりわかりやすい内容の財政白書となるよう、随時、掲載内容等十分検討する必要がある。
②今年度(H27)に実施した取組	昨年の内容の一部新たな内容として、地方債の償還能力を加えた。印刷製本の方法をオンデマンド印刷方式で行った。	④今後の改善計画	自前での作成を行っていく中で、掲載内容や効率的な作成方法やスケジュール等を検討していく。